

森林レンジャーあきる野新聞

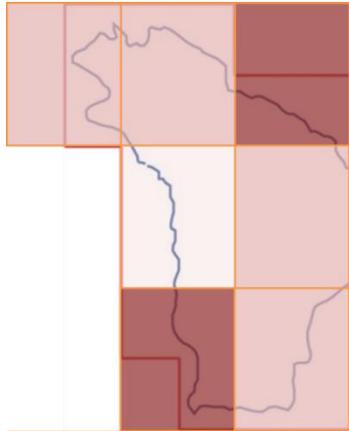
Shinrin
RANGER

あきる野

Vol.51 2014年9月号

発行：森林レンジャーあきる野

今年のどんぐりは・・・



- 並作
- 不～並作
- 凶作

どんぐり（ブナ、ミズナラ、コナラ、ヤマグリ）の豊凶調査の結果、不～並作です。

樹種	コナラ	ミズナラ	クリ	ブナ
状況	不～並	不	不～並	凶



8月下旬
昆虫のチョッキリが
未熟なミズナラに産
卵し、地面に落とす。

森では多くの野生動物が厳しい冬を生き残るために、晩夏から晩秋にかけてより一層あわただしくなります。そして、どんぐりが熟れて落下する9月末（クリはそれよりも1週間くらい早い）からは、ネズミからツキノワグマまで多くの野生動物がどんぐりを利用します。

エサの減る冬のために貯食をするネズミやリス、カケス、たくさん食べて脂肪を蓄えるサル、シカ、イノシシ、ツキノワグマ・・・冬への対策は違ってても、どんぐりを利用することに変わりはありません。

一方、野生動物にとって厳しい冬は全ての命を守るわけではありません。どんぐりが結実の変動を作っている理由の一つには、森の野生動物の数を調整していると言われています。どんぐりは利用する動物の数を調整することにより、自分の子孫を残す戦略であると考えられています。こうして自然のバランスが保たれています。

こうした自然の変動が、自然豊かな地域では人にも影響を与えます。どんぐりが不作の年は特に、野生動物との棲み分けのために、人の暮らしの中で私たちにできることがあるのだと思います。（加瀬澤）



豊凶調査を実施している中の1地点では、コレンジャーと共に調査を行いました。雨の中、調査をする姿が様になっています！協力ありがとうございます。



けもの気持ちや伝えるポスターをコレンジャーが作りました。



作成してくれたポスターは、小宮地区6自治会の掲示板に掲示します。

夏の季節には雑草の影響で森の雰囲気が大分変わり、ハイキングコースも草で覆われてしまいます。また、大雨などが多い季節でもあるため、倒木や危険木が発生してしまいます。気楽に、そして安全に登山道やハイキングコース(東京都やあきる野市で管理しているコース)を歩けるようにするために、巡視しながら草刈や倒木処理などを行っています。四季のある日本の気候に合わせ、特に積雪の季節、夏の大雨や早秋の台風の季節では巡視を強化し、ハイキングコースの安全管理を実施しています。その中で、状況が変わりやすい季節には、山へ出かける前には、ハイキングコースの状況について十分調べてください。



草刈、危険木や倒木処理。ビフォー&アフター

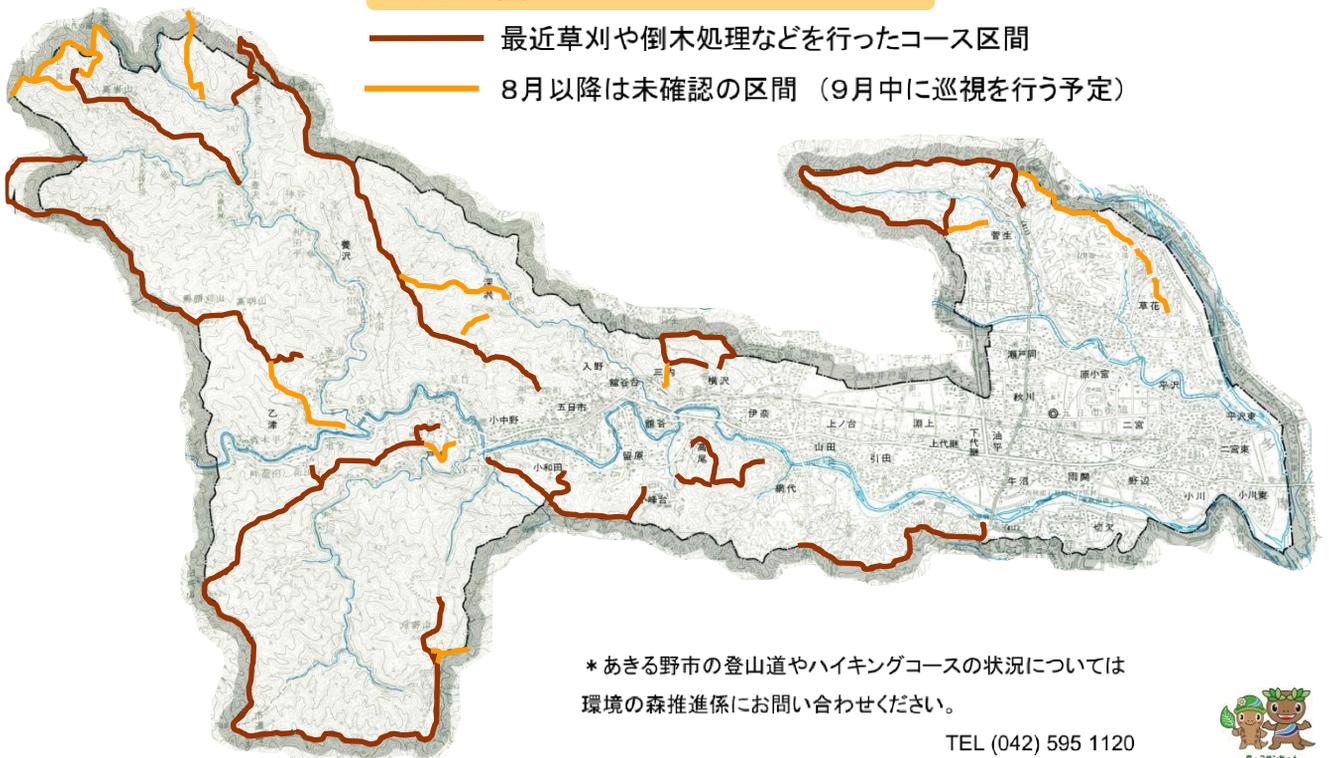
今回は、作業によるコースの変化や、市内のルート状況(図)を紹介します。 [パプロ]



8月6日、臼杵山からの風景

あきる野市の登山道やハイキングコース

- 最近草刈や倒木処理などを行ったコース区間
- 8月以降は未確認の区間 (9月中に巡視を行う予定)



* あきる野市の登山道やハイキングコースの状況については環境の森推進係にお問い合わせください。

TEL (042) 595 1120

